

平成30年度  
採用予定

ひたちなか・東海広域事務組合

# 消防職員採用試験



試験区分等	資格要件	第1次試験
消防A (3人程度)	採用後、当分の間、東海村またはひたちなか市内に居住でき▽平成元年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた▽平成8年4月2日以降に生まれ、学校教育法による大学(短期大学を除く)を卒業(平成30年3月31日までに卒業見込み)——のいずれかに該当する方	期日▼9月17日(日) 時間▼午前8時30分～ 場所▼ひたちなか・東海広域事務組合消防本部(ひたちなか市笹野町2-8-1) 内容▼教養試験(Aは大学履修程度、Bは高等学校履修程度)、作文試験、適性検査、体力検査
消防B (3人程度)	採用後、当分の間、東海村またはひたちなか市内に居住でき、平成8年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方	

## 申込書の請求

下記配布場所へ直接取りに来るか、ひたちなか・東海広域事務組合ホームページ(<http://www.hitachinaka-tokai.or.jp/>)からダウンロードしてください。

●**配布場所等** ①東海消防署をはじめとするひたちなか・東海広域事務組合の各消防署または消防本部 ②東海村人事課(役場行政棟3階) ③ひたちなか市人事課(ひたちなか市東石川2-10-1)・那珂湊支所(ひたちなか市和田町2-12-1) ※②③の配

布日時は、8月18日(金)まで(土・日曜日、祝日を除く)の午前8時30分～午後5時15分です。

## 申し込み・問い合わせ

7月28日(金)から8月18日(金)まで(祝日を除く)の午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日は正午まで)に、受験者本人が必要書類一式をひたちなか・東海広域事務組合消防本部総務課(ひたちなか市笹野町2-8-1 ☎271-0733)へお持ちください。※消防署での受け付けはできません。

## 住宅用火災警報器の点検をしましょう!

### 火災に遭遇する確率ってどのくらい?

火災が発生し、テレビ等で報道されると「世間では火災ばかり起きているのかな…」と思ってしまいますが、実際、火災に遭遇する確率は年間で考えると3,000人に1人です。

現在の建物は燃えにくい素材で作られ、さまざまなものの安全性が高まったことが、火災発生件数を少なくしている要因とされます。しかし、火災発生がゼロになることは難しく、毎年1,000人以上の生命や、大切な財産が失われています。

### 行っていますか? 住宅用火災警報器の点検

住宅用火災警報器の設置が義務付けとなつてから、10年以上が経過しています。住宅用火災警報器を設置していたことにより、助かった事例も報告されており、その有効性が認められています。

住宅用火災警報器の多くが電池式の製品で、簡単に取り付けることができますが、電池切れの心配があります。“あの時、ちゃんと点検し

### 住宅用火災警報器がなかったら…



IHクッキングヒーターで料理を煮込んでいる最中、火が通るまで、キッチンから



離れた場所で雑誌を読んでいたところ、そのままた寝をしてしまいました。

住宅用火災警報器の音で気が付き、鍋の中から炎が見えたので、近くに設置していた消火器で消火しました。被害は鍋を焦がし、周囲が汚れた程度で済みました。

ていれば…」と後悔しないよう、定期的な点検を行いましょ。また、住宅用火災警報器は約10年が交換の目安です。製造年月を調べ、10年以上経過している場合は、取り替えることをお勧めします。

### 問い合わせ

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部予防課(☎271-0735)